

ベニザケ陸上養殖

福島で世界初成功

きょうから試験販売

スーパーのいちい（福島市）とNTT東日本（東京）、岡山理科大（岡山市）は20日、ベニザケの陸上養殖に世界で初めて成功したと発



世界で初めて陸上養殖に成功したベニザケ

いちい、NTT東、岡山理科大

表した。福島市のいちい店舗で21日から試験販売を行い、最適な事業や販売の仕組みを検討していく。早ければ2025年の事業化を目指す。【7面に関連記事】

3者は22年1月から、共同でベニザケ千匹を陸上養殖する実証事業を実施してきた。いちい本社の敷地内にある養殖設備で情報通信技術（ICT）や人工飼育水の「好適環境水」を駆使し、水質などを効率的に管理してきた。

ベニザケは一般的に出荷できる成魚になるまで4年かかると思われる。今回の実証実験では、1年半で体長約50センチ、重さ約1・2キロと

出荷・販売できる大きさに成長したという。

今後は、川俣町の旧富田小に規模を拡大した生産、研究施設を整備し、ベニザケの陸上養殖の事業化に乗り出す方針。また3者が協力して取り扱い魚種の拡大、新産業創出、子どもたちへの食育活動などに取り組んでいく。

20日にいちい本社で開かれた記者会見で、いちいの伊藤信弘社長は「わが社は鮮魚店として創業した歴史があり、安全・安心な魚を消費者に提供したい。地域と連携して事業化を進め、増産体制を構築していきたい」と語った。